

# 採血管 新規採用のお知らせ (「C3」「C5」「D2」「D5」)

21-P042 (2021 Dec.)

[1/4]

サポートライン  
**2147**

このたび、検体検査の自動搬送ラインの新規調達により、別掲の採血管を新規採用いたします。  
 診療科のみなさまには、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

## 2021年 12月 27日 (月) 夕方 ラベル発行分より

- 新規採用・変更となる採血管：以下別掲の通り
- 変更点の概要

容器名称	新 容器記号	容量	使用本数の目安	用途
血清採取	<b>C3</b>	3 mL	F管 + H2管と同程度	生化学・免疫検査 (血清)
	<b>C5</b>	5 mL	H管と同程度	内分泌検査 (血清)
	<b>C6</b>	6 mL	I管と同程度	薬物血中濃度
クエン酸Na	<b>B2</b>	2 mL	B管と同程度	凝固検査
EDTA-2K	<b>D2</b>	2 mL	D管と同程度	細胞分析・感染症遺伝子
	<b>D5</b>	5 mL	Z管と同じ程度	薬物血中濃度

- 12月20日より検査室1に配置します。上記の使用本数を目安にご準備ください。
- 使用しなくなった採血管は、各病棟にて廃棄をお願いします。



検査部サポートライン (PHS : 2147)

詳細は次ページ以降を参照ください。

検査部：増田 (PHS 2144)・西山 (PHS 2141)



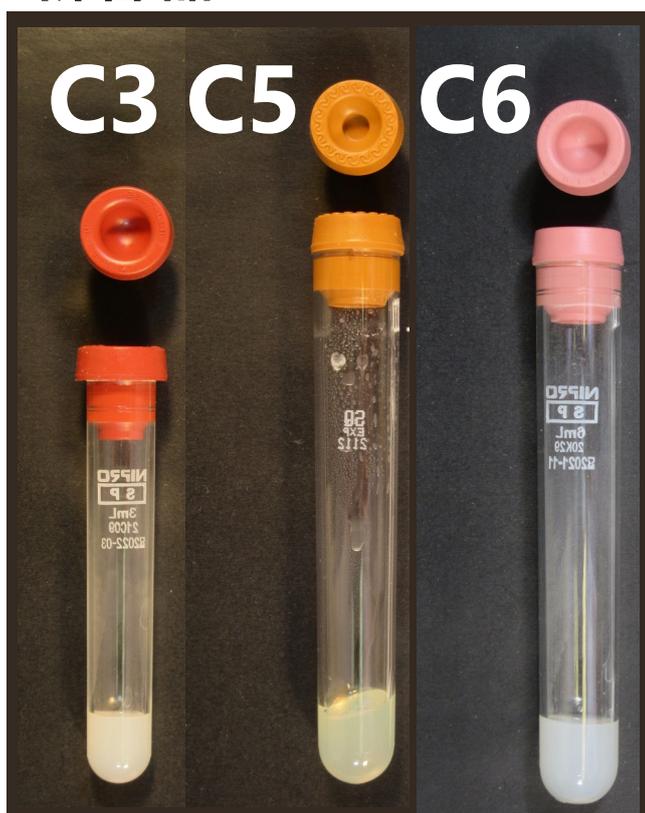
## 血清採取管の変更

血清採血管として、「F」「H」「I」を廃止して、「C3」「C5」を追加します。

既存の「C6」も血清採取可能です。

	C3	C5	C6
内容物	血清分離剤		
キャップ	赤レンガ色ゴム	黄土色ゴム	ピンク色ゴム
容量	3 mL	5 mL	6 mL
採取前容器の保管方法	室温保管		
検体容器保管場所	中央診療棟 2階 検査室1		
主な使用目的	生化学検査・免疫検査・内分泌検査・薬物血中濃度		
備考		高速凝固管	既存管

## 新容器



## 旧容器



旧容器で採血されても検査は可能ですが、検査結果報告が遅延する可能性があります。

より迅速な検査結果報告のため、「C5」は高速凝固管を採用しております。そのため、残血清への項目追加に、一部対応できない場合があります。



## 凝固検査用採血管の変更

凝固検査用採血としてはこれまで、「B」「B2」がありましたが、「B2」のみに統一します。容量・内容物は同一のものです。

	B	B2
内容物	3.2% クエン酸ナトリウム	
キャップ	黒シール	黒ゴム
容量	2 mL	2 mL
採取前容器の保管方法	室温保管	
検体容器保管場所	中央診療棟 2階 検査室1	
主な使用目的	凝固検査	

## 新容器



## 旧容器



旧容器で採血されても検査は可能ですが、検査結果報告が遅延する可能性があります。

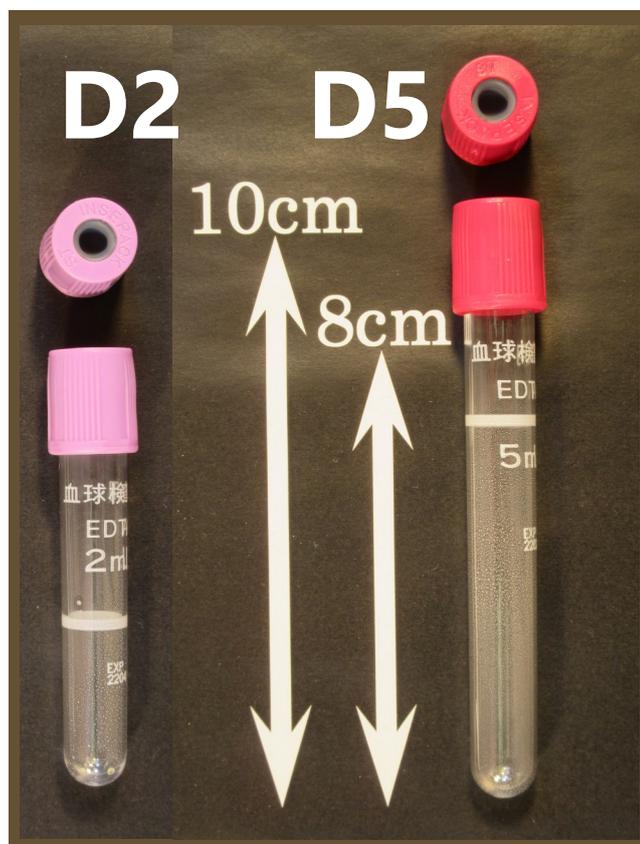


## EDTA-2K管の変更

EDTA-2K採血管として、「D」「Z」を廃止して、「D2」「D5」を追加します。

	D2	D5
内容物	EDTA-2K	
キャップ	薄紫オーバーキャップ	赤オーバーキャップ
容量	2 mL	5 mL
管壁の表記	血球検査用 EDTA 2 mL	血球検査用 EDTA 5 mL
採取前容器の保管方法	室温保管	
検体容器保管場所	中央診療棟 2階 検査室1	
主な使用目的	薬物血中濃度 細胞分析・感染症遺伝子	細胞分析・感染症遺伝子

## 新容器



## 旧容器



旧容器で採血されても検査は可能です。

